



S. Shakthidharan (S・シャクティダラン)

西シドニー在住。映画・演劇の作家、演出家、プロデューサー、作曲家、演奏家。スリランカのタミルの後裔。コミュニティアート・カンパニーを設立し、2005年より恵まれない地域の移民や難民と「我々のストーリーもオーストラリアのストーリー」としてデジタルメディアで社会に発信する複数の芸術集団を生み、都市郊外や奥地での草の根的な社会変革を起した。現在は、映画・演劇・音楽の制作「クリンジ(Kurinji)」の芸術監督、ベルボア劇場のアソシエイト・アーティスト。2019年にプロデューサーと共同演出を務めたデビュー戯曲『カウンティング&クラッキング』は、シドニー・フェスティバル、アデレード・フェスティバルで絶賛され、スリランカ人コミュニティに多大なインパクトをもたらした。ヴィクトリア州文学賞と、ニューサウスウェールズ州ニック・エンライト劇作家賞、ヘルプマン賞では、最優秀作品賞を含む7賞を受賞。現在、大手製作会社とテレビ・シリーズを準備中。今春、ザーナ・フレイロンの難民を描いた小説『The Bone Sparrow』を翻案した作品が英国ツアー。最新作『The Jungle and the Sea』がベルボア劇場で本年上演予定。

コーディネーター・翻訳：佐和田敬司(オーストラリア演劇研究者・翻訳者・早稲田大学教授)セミナー全日程に参加。

セミナー内容

Zoomを利用したオンラインセミナーです。

1日目 9/16(金) 19:00～21:30 (休憩込み)

- シャクティダランによるレクチャーと質疑応答
講師：シャクティダラン

2日目 9/17(土) 14:00～17:00 (休憩込み)

- 翻訳リーディング(前半)
■ セミナー参加者による意見交換

3日目 9/18(日) 14:00～17:00 (休憩込み)

- 翻訳リーディング(後半)
■ シャクティダランによる質疑応答
講師：シャクティダラン

【講師言語】英語(日本語通訳あり)

【参加費】2,000円(通し券) ※協会員無料

お申し込み
お問い合わせ

チケットシステム
【Peatix】から
お申し込みください。
<https://jdaiad-australia.2022.peatix.com>



左記のシステムが利用できない方は、件名「オーストラリア特集2022」を記載。本文に、①お名前(氏名・ふりがな)②連絡先(電話番号・メールアドレス)を明記の上、メールにてご応募ください。後ほど詳細をご連絡いたします。

jda.iad.info1@gmail.com ☎050-3696-0287(担当：菅田)

申込〆切 ■ チケットシステム【Peatix】ではレクチャー各回の前日まで ■ メールでのお申込みは、9月12日(月)まで

国際演劇交流セミナーとは？

1990年代より、近隣の韓国、中国の演劇人との交流、さらには東アジアの国々と、演劇交流をかさねてきました。1999年からは文化庁による本格助成のもと、「国際演劇交流セミナー」を通年で開催するようになり、世界各国の演劇人を講師として、ワークショップ、レクチャー、シンポジウム、リーディング等を連続的に開催しています。これまでに、アジア、ヨーロッパ各国より多くの演劇人を招聘してきました。今後も「世界の演劇人との交流」、ひいては「国際的視野を持つ日本の演出家、および劇作家、俳優の育成」を目的に、様々なセミナーを実施いたします。

2022年度セミナー
韓国特集 8/18～20

韓国のドラマ教育にて活躍する講師を迎えるオンライン・プログラム



●リーディング●

『カウンティング&クラッキング』

COUNTING & CRACKING

作：S・シャクティダラン 翻訳：佐和田敬司

オーストラリアとスリランカの半世紀が交錯する
3時間を超えた大作です。

【あらすじ】

2004年、シドニーで暮らすシダータはいまどきのオージーの大学生で、スリランカ系だが故国とのつながりは途絶えている。しかしスリランカ内戦で行方知れずになっていた父が生きていることを告げる一本の電話によって、シダータと母ラーダは、過去のスリランカと家族の歴史へと引き戻されていく。

【出演】

大原みづほ、尾倉ケント、木村美月(阿佐ヶ谷スパイダース)、
小林あや、小山萌子、佐野陽一(サスペンデッツ)、
神保良介、杉本政志、橋詰高志、原田理央(柿喰う客)、
水野小論(ナイロン100℃)、百花亜希、渡邊りょう